
慢性めまいに対するめまいリハビリテーションの有用性の検討

めまい・平衡機能障害が長期間にわたり持続することは、非常につらく苦しいことです。そこで、3か月以上症状が持続するめまい・平衡機能障害に対して、リハビリテーションを行っていただき、その効果を多施設で評価を行うことにより、その効果を明らかにすることが目的です。

今回用いるリハビリプログラムが有効であることが証明されれば、参加者ご本人はもとより、より多くの皆様が、このリハビリプログラムによって状態の改善を得ることが期待されます。

対象は、めまい・平衡機能障害が3か月以上持続する患者さんです。方法は、めまいリハビリテーションをご自宅で毎日2回ずつ施行していただきます。めまいリハビリテーション開始後1か月毎に3か月または6か月後まで、めまい自覚症状をアンケートで、平衡機能への効果を眼振検査と重心動揺検査で評価します。

科
